

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)  
熱海地区

令和5年3月

福島県郡山市

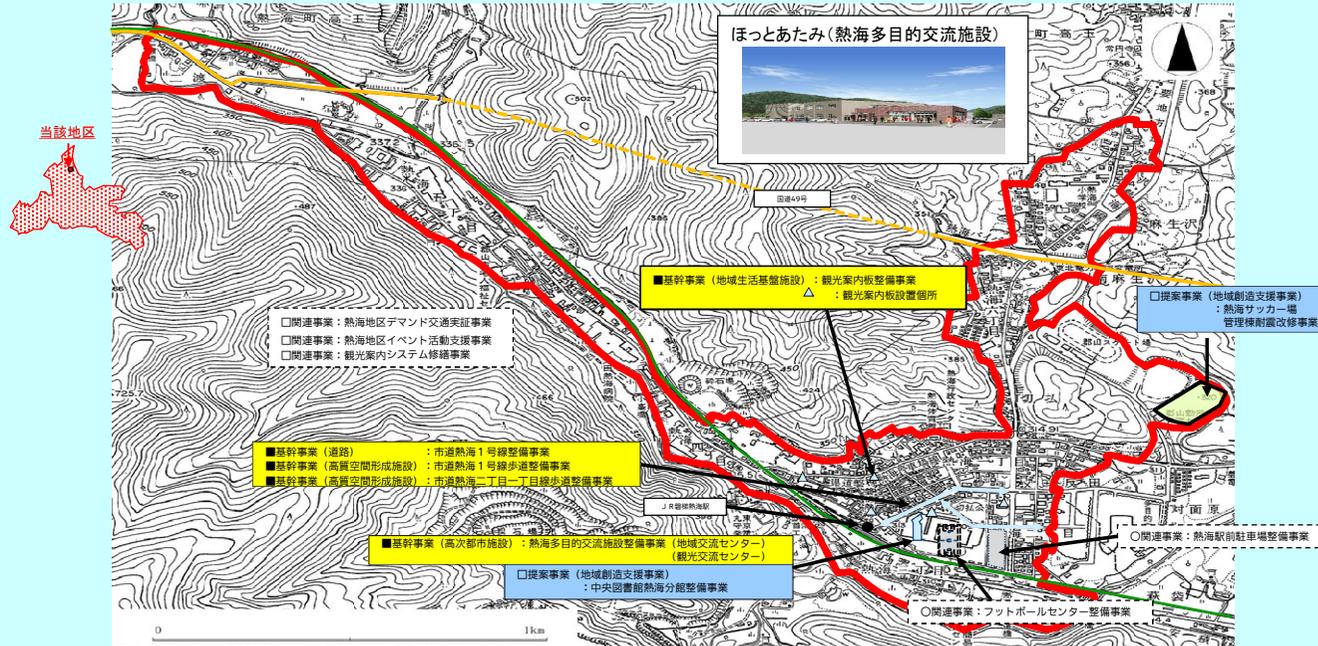


4) 定性的な効果 発現状況				
		実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5) 実施過程の評価	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	官民連携による 取組		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	持続的なまちづくり 体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	

## 様式2-2 地区の概要

### 熱海地区(福島県郡山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
本市発展の礎となり日本遺産に指定されている安積疏水及びその関連施設やスポーツ・コンベンション施設を最大限に活用し、歴史とスポーツが融合した「賑わいのあるスポーツプリングス 磐梯熱海温泉」の創出を目指す。 1 観光客をはじめとする温泉街で行き交う人々の安全と賑わいを創出するための拠点施設整備 2 様々な資源をネットワーク化したまち歩き空間の形成 3 歴史や自然環境を活かした地域づくり	駅歩行者通行量(休日)	単位:人/日	135 H27	165 R2	374 R3
	交流拠点施設利用者数	単位:人/年	23,809 H27	25,000 R2	21,503 R3
	磐梯熱海温泉入込数	単位:人/年	768,414 H27	800,000 R2	417,087 R3
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



まちの課題の変化 多目的交流施設により物産品等販売施設、休息施設及び地域住民の交流施設が整備され、周辺地域に賑わいが帰ってきたが、一方、新型コロナウイルス感染症により温泉地へ入込み客数が減少するなどしており、人流動向に大きく影響を与えている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) ・新型コロナウイルス感染症により人の流れ、動向に大きな変化が生じている。新しい生活様式を意識した、イベントやPRの実施・基盤となる施設等の整備は完了したことから、整備施設等の活用した事業の実施などソフト面で賑わいの持続等を図る。